

教育委員会を知らう！ 「夢広がる学校づくり推進事業」

市教育委員会では、学校の創意工夫に基づいた特色ある教育活動の推進に繋がる事業を実施することで、学校運営の活性化を図るため「夢広がる学校づくり推進事業」を実施しています。

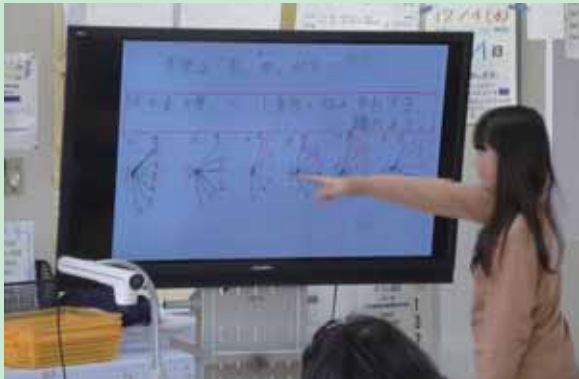
同事業は、本市の小中学校から、それぞれが取り組みたい特色ある教育活動について事業実施計画書を提出していただき、その中から市教育委員会が採択した教育活動を支援する事業です。

平成25年度は、新しい授業づくりの試みや基礎学力の定着、子どもたちの学ぶ意欲を喚起する、あるいは家庭学習の習慣や生活習慣の確立を目指すものなど、小中学校合わせて7件を採択しました。
ここでは、その中から一部を紹介いたします。

平成25年度の「夢広がる学校づくり推進事業」

- ◆**稚内港小学校**
ICT機器を活用したコミュニケーション能力の育成
- ◆**天北小中学校**
「子どもの育ちを保障する地域の教育力の向上」事業
- ◆**稚内東中学校**
東中学力向上レインボー・プロジェクト2013
- ◆**潮見が丘中学校**
「潮見が丘中学校 伝統芸能（舞踊）活動整備事業」「基礎学力問題集整備事業」
- ◆**稚内中央小学校・稚内中学校**
「北地区学力向上ドリームプランⅡ」
- ◆**稚内南小学校**
「子どもたちに夢を」・「子どもたちの学力を保障する教師力の向上」
- ◆**潮見が丘小学校**
学力向上をめざす「家庭学習習慣確立プロジェクト」

ICT機器を活用した コミュニケーション事業 （稚内港小学校）



大型モニターにノートを映し出し、みんなで確認

ICTとは情報通信技術のこと
で、ICT機器とは、パソコンや
電子黒板、実物投影機などのこと
です。
港小学校では、ICT機器を活



理科の授業では、細かい実験も大画面で表示

用することで、子どもたち同士で
考えを伝えあったり、学び合うこ
とを充実させ、コミュニケーション
能力を高める授業づくりを行っ
ています。
例えば、実物投影機で大型モニ
ターに子どもたちのノートを映し
出すことで、それぞれの考えが、
ほかの子にも伝わりやすいという効

果があります。
また、教材を用いての説明では、
教材を動かしながら多方向からの
説明が可能となり、学習活動の充
実が期待されます。

北地区学力向上ドリームプランⅡ （稚内中央小学校・稚内中学校）

北地区では、「授業改善」
「基礎基本の定着を促す家庭
学習」「学習の土台となる生活
リズムの改善」を学力向上の
三本柱としています。

授業中での「学び合い」
を中心に、子どもたちが意欲
的に取り組み、学びを共有で
きる授業づくりや基礎基本の
定着を促し、家庭学習にも使
えるテキストの研究や制作を
進めています。

「学び合い」とは、子どもた
ちがお互いに学び合いや教え



国語の教科書の詩を題材に
「学び合い」（対話的ギャラリートーク）の
手法を活かした提案授業

合い、分かった子が分からない子
に教える場面を設けることで、学
習の理解を促し、思考力やコミュ
ニケーション能力を高めることが
期待されています。

問い合わせ／
市学校教育課学校教育グループ
☎2316519

こんにちは 市長です。

No.17



「夢の実現！」

日本中が盛り上がった「ソチオリンピック」も終
わり、また我がまちも「氷雪の広場」や「全国犬ぞ
り稚内大会」など、冬の大きなイベントを無事終了
することができました。これからは気候的にも三
寒四温が進み、むしろ、新しい生活に向けて、希望
の膨らむ、そんな季節の到来です。

ピカピカの一年生になる子どもたち、学年がそ
れぞれ一つ上になって緊張している小学生、新中
学生はもちろん、高校受験を終えてホッとしてい
る中学生など、それぞれが明日に向かって様々な
思いを抱いている、そんな季節です。

最近、スポーツや研究などで一躍有名になった
方々のニュースを見ると、子どもの時代に書
き残した寄せ書きや日記などの中で、「将来こんな
人になりたい」という当時の夢の紹介があり、実際
にそれを実現したことを知り、子どもの可能性の
凄さはもちろん、夢の大事さに気づかされること
が多々あります。

稚内の子どもたちも、ぜひ、一人ひとり夢を膨ら
ませて欲しいですし、そのために、私たち大人がで
きることを通じてしっかりと子どもたちを応援しま
しょう。

「夢を夢で終わらせないで実現して欲しい！」心
からそう願っています。

稚内市長 工藤 広